

株式会社リクルートライフスタイル（本社:東京都千代田区、代表取締役社長:浅野 健）の美容に関する調査研究機関「ホットペッパービューティーアカデミー」(<http://hba.beauty.hotpepper.jp/>)は、全国の人口20万人以上の都市在住者のうち、15～69歳の男女13,200人を対象に過去1年間における美容サロンの利用に関する実態調査を実施しました。その結果をご報告いたします。

## 美容センサスとは

「ホットペッパービューティーアカデミー」が毎年行っている、美容のサービス消費（＝美容サロン消費）に関するカスタマーの利用動向調査です。

- ※美容センサス上期・・・男女の美容サロンの利用行動（利用率・利用頻度・利用単価など）に関する経年調査
- ※美容センサス下期・・・男女の美容への意識と美容行動（サロンおよび代替環境を含む）に関しての経年調査

## 「ホットペッパービューティー アカデミー」とは

美容に関する調査研究機関。「学ぶ、つながる、発信する 美容の未来を創る場所」をビジョンに2014年に開校。美容サロンのマネジメントやマーケティングを学ぶ「経営セミナー」、美容センサスを始めとした「調査研究」、訪問美容などの「未来会議」を柱に無料で美容業界へ情報発信。美容業界の成長に寄与する場の提供を目指している。

<http://hba.beauty.hotpepper.jp/>

## 2019年上期 概要

女性の美容サロンの利用率はおおむね前年と比較して横ばい。

頻度（利用回数）・利用金額（1回あたり）が全サロンで前年を上回る。

### ▼美容サロンの利用状況（女性／全国）

	美容室	ネイルサロン	エステサロン ※フェイシャル	リラクゼーション サロン※着衣	アイビューティー サロン
利用率	86.0%	9.8%	9.1%	16.4%	7.3%
前年比	0.0pt	-0.2pt	-0.7pt	+0.2pt	+0.6pt
利用回数/年	4.47回	4.86回	4.64回	5.53回	5.07回
前年比	+0.7%	+12.8%	+7.9%	+3.4%	+11.4%
利用金額/回	6,677円	5,566円	6,831円	4,372円	4,997円
前年比	+3.1%	+6.7%	+8.3%	+7.7%	+8.6%

※利用率：過去1年以内に美容サロンを利用した比率

※利用回数、利用金額は利用者の平均

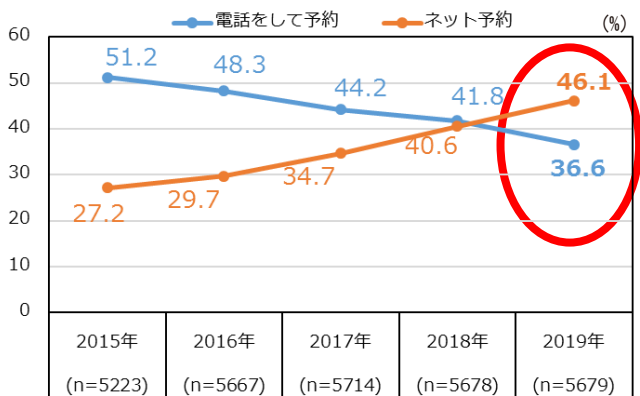
【本件に関するお問い合わせ先】  
株式会社リクルートライフスタイル 広報グループ <https://www.recruit-lifestyle.co.jp/support/press>

トレンド①

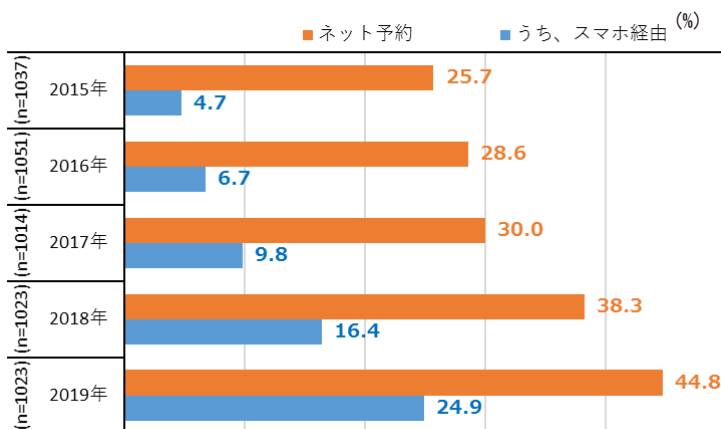
【美容室】40代女性の「ネット」からのサロン予約が増加！  
女性全体で「ネット予約」が「電話予約」を上回る。

女性の美容室の予約方法が「電話予約」36.6%に対して、「ネット予約」が46.1%で逆転。本年初めて「ネット予約」が「電話予約」を上回った。年代別には、40代女性の「ネット予約」が「電話予約」を逆転。特にスマートフォンからのネット予約が進んだ影響が大きい。

【美容室の予約方法】（美容室利用の女性全体）



【40代女性のネット予約合計と、スマホ予約比率】



「ホットペッパービューティーアカデミー」 研究員が解説

IT化がカスタマーの予約行動を変え、ついに女性の美容室の予約方法として、「ネット予約」が「電話予約」を上回りました。背景には、**40代女性の「ネット予約（特にスマホからの予約）」が進んだ**ことがあります。

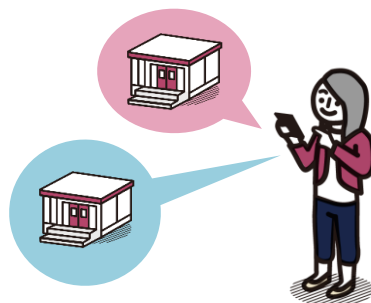
40代女性が10代後半～20代後半だったころのIT環境を振り返ると、「インターネットと携帯電話（ポケベル、PHS含む）の普及」が大きく影響した世代であることが分かります。**現在の40代女性は、高校生ころからポケベルを使い、学生から社会人になるにつれてPHSや携帯電話を使うなど、モバイル技術の進化とともに育った世代**です。スマホを日常生活に取り込む40代の増加により、「ネット予約」はますます増えていくでしょう。

（「ホットペッパービューティーアカデミー」研究員 田中 公子）

参考（1990年～2000年のIT・携帯サービスの進化）  
40代女性（1969年～1978年生）が高校生～20代（※）

1993年	ポケベルがドラマの主題歌に
1996年	ポケベル利用者がピーク 1,000万加入（数）
1998年	PHSの契約者が700万人へ
1999年	「iモード」開始

※出典）総務省情報通信 統計データベース  
※「iモード」はNTTドコモの登録商標です。



【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社リクルートライフスタイル 広報グループ <https://www.recruit-lifestyle.co.jp/support/press>

## トレンド②

【美容室】30代、40代女性の「カラー※1」が半数超え。「トリートメント」も増加。  
利用金額は過去最高額※2に。

※1 「フルカラー」「カラーリタッチ」 ※2 2012年以来

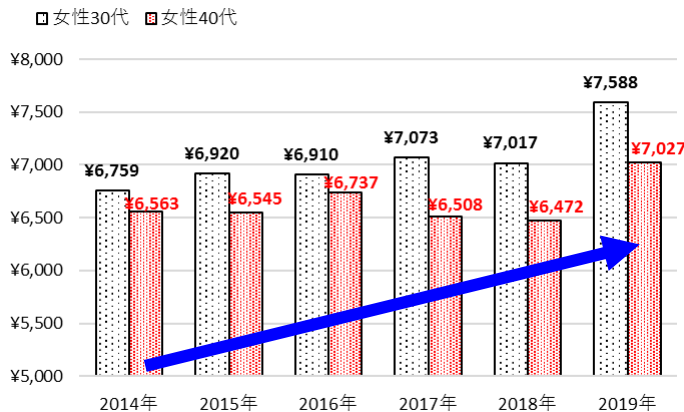
30代、40代女性のカラー、トリートメント利用がこの4年間で増加傾向。特に40代のカラーは前年比9.4pt増加と一段と進んでいる。美容室での利用金額も、30代、40代とも最高額になった。

【カラー、トリートメント利用率】（女性30代、40代）

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
(%)					
<b>カラー※</b>					
女性30代	47.1	47.0	52.5	54.8	57.4
女性40代	43.6	43.6	42.7	44.6	54.0
<b>トリートメント</b>					
女性30代	33.0	33.3	38.8	41.1	45.8
女性40代	25.4	26.6	30.3	31.0	34.6

※「カラー」は「フルカラー」「カラーリタッチ」

【美容室の利用金額】（女性30代、40代）



### 「ホットペッパービューティーアカデミー」研究員が解説

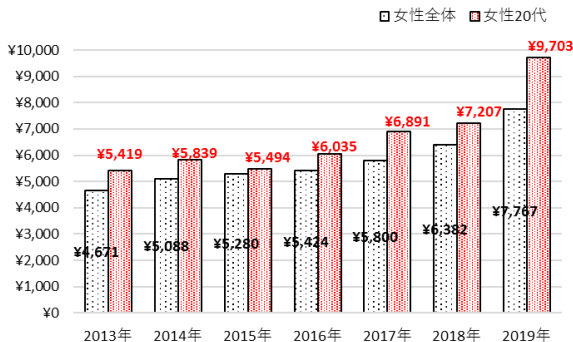
現在の30代、40代女性は、**10代後半～20代のころから「デザインカラー」を当たり前のオシャレとして楽しんでいた世代**です。特に40代女性においては**中学生・高校生時代に、「コギャル」「アムラー」ブームにより、**当時はロングヘアや明るいブラウンカラーが大流行していました。また、カラー需要の増加とともに、ケアをする人が増え、トリートメント需要も増加していると考えられます。（「ホットペッパービューティーアカデミー」研究員 田中 公子）

## トレンド③

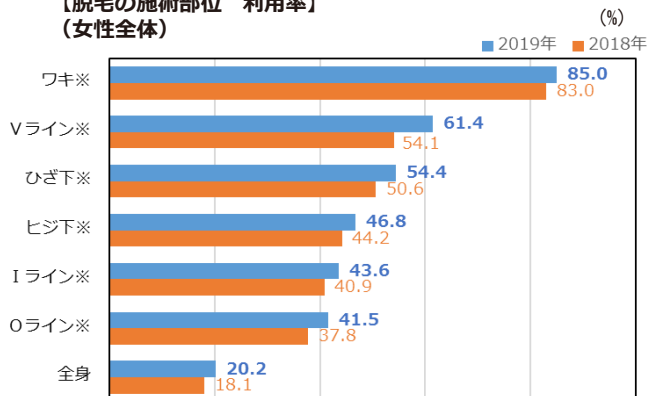
【エステ[脱毛]】ワキ脱毛は「当たり前」、Vラインも前年比7.3pt増。  
複数部位の利用が増えて、脱毛利用金額が20代を中心に大幅増。

女性全体の脱毛利用金額が2013年の調査開始以降、増加し続けている。特に、20代では前年比2,496円増（34.6%増）で1回あたり約1万円の利用。施術部位は「ワキ」が85.0%でほぼ定着、「Vライン」、「ひざ下」も半数を超える。

【脱毛サロンの利用金額】（女性全体、20代）



【脱毛の施術部位 利用率】（女性全体）



※部位名に「※」が付いているもの：各部位の回答%に「全身」の%を合算したスコアを掲載

### 「ホットペッパービューティーアカデミー」研究員が解説

**V・I・Oラインは2015年上期から、それぞれ18pt前後増加し、ここ5年でもっとも伸び率が高い部位**です。大手サロンでも、「ワキ」以外にも「V・I・O」「全身」が1,000円以下で施術できるプランも出るなど、気軽に試することができる機会が増えています。（「ホットペッパービューティーアカデミー」研究員 田中 公子）